



東北発 素材技術
先導プロジェクト
Tohoku Innovative Materials Technology
Initiative for Reconstruction



東北大学

東北発 素材技術先導プロジェクト

超低摩擦技術領域

Ultra-low Friction Technology Area

Newsletter

October 2015

Vol.

6

産官学連携・地域復興支援シンポジウムを開催

本技術領域の大きな目的は、超低摩擦技術の実用化を通じて地域企業の競争力を高め、東北地方の復興と発展に貢献することです。この目的のため、拠点で産学協働による研究開発を進めているほか、平成25年度からは、産官学連携のもとでの地域貢献を始めました。東北経済産業局、東北経済連合会(ビジネスセンター)、宮城県産業技術総合センターを通じて、地域企業が抱えている課題を把握し、機器の共用、技術相談、共同研究などにより課題の解決に協力しています。そして、これらの実績は、地域企業の事業拡大につながりつつあります(図)。

こうした地域企業への支援活動を広く知っていただくとともに、地域企業間の交流を深め、さらなる発

展のきっかけとしていただくために、2015年5月14日、東北大学片平さくらホールにおいて、標記シンポジウムを開催しました。

当日は、関係機関の代表者による講演(詳細はp.2参照)と、本技術領域の成果紹介が行われたほか、地域を中心とした19の企業、6つの関係機関と本技術領域によるポスター発表と交流会が行われました。参加者は141名で、このうち64名が企業からの参加者でした。ポスター発表では、サンプルや模型を用いて説明を行う企業もあり、来場者がいろいろな質問をする姿も多く見受けられました。当日のようすは、NHK東北のニュースと日刊工業新聞に取り上げられました。



会場風景



ポスター発表

地域連携による産業競争力強化への本技術領域の貢献

